

川越百景めぐり

「川越百景」とは、市内に点在する優れた景観を、平成24年度に公募し選定したものです。この川越百景の啓発と、観光資源としての活用調査を目的として、同27年度に「新河岸川舟運でたどる川越の歴史」「入間川ウオークと中世河越めぐり」「喜多院界隈と四門めぐり」の3つのテーマでモニターツアーを実施しました。それぞれのツアーでは、点在している川越百景を線で結び、歩きながら巡りました。こうすることで、大きな歴史の流れを感じることが出来ます。

モニターツアーの調査結果等をもとに、都市景観課では市内全10コースのウォーキングマップを作成し、同課(本庁舎5階)で無料配布しています。川越の歴史や文化、自然にふれるだけでなく、ウォーキングの楽しみも感じられる川越百景めぐり。みなさんもお気に入りの景観を探しに出掛けてみてはいかがでしょうか。



喜多院コースの永島家と七曲り



入間川コースの鈴木園



新河岸コースの蓮光寺



マンゴー

南国のフルーツという印象が強いマンゴー。九州、沖縄産が有名ですが、実は昨年からは川越でも、東洋ビーネット(株)あまみごえファーム(中福)が栽培を始めました。

約800㎡のビニールハウスで100本ものマンゴーの木を育てるために大切なのは、十分な日光と栄養を与えること。そのために、不要な枝や葉

を落とす剪定は、一つ一つ手作業で行っています。加えて、雨が降りだすと窓が閉まり、日差しが強くなると遮光カーテンが引かれる、先進的な自動制御システムを導入したり、有機肥料などを使用したりと、たくさんの工夫をしています。

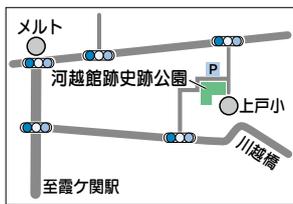


「甘みと川越をかけた『あまみごえ』の名前に負けない、甘いマンゴーを川越名物にしたいです」と話すのは、栽培を行っている高橋邦夫さん。今年が初めての収穫となる川越産マンゴーは、7月から同ファームのビニールハウス脇の直売所で販売するそうです。ぜひ味わってみませんか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

ジャガイモ、トウモロコシ、インゲン、エダマメ、ゴボウ、キャベツ、トマト、キュウリ、ネギ、ナス、コマツナ、ブロッコリー、新タマネギ、カブ

「広」としての園内には、親子連れや高齢者などの姿。保育園の子どもたちも遊びに来ていました。子どもたちが大きくなって、楽しく遊んだ公園にこんな歴史があったんだ、と驚き、郷土に関心を持つてくれたらすてきですね。皆さんも、歴史と緑を感じてみませんか。



「緑」がまぶしい季節、茶の新緑を見たくて河越館跡史跡公園へ。中世の河越氏時代の遺構が復元され、歴史を感じられる場として、芝生や東屋がある憩いの場として親しまれている公園です。中世の銘茶「河越茶」に河越氏が深く関わっていたと考えられることから、さまざまな種類の茶の木が植えられています。

編集後記
どんぐり